

## 平成 30 年度における重要課題(盛岡広域振興局)

項目	現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
1 IT産業の振興	<p>&lt;現状と課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本県のIT企業は、多くが、首都圏等の大手IT企業から開発業務の一部を受託し、または当該企業への人材派遣を主たる業務としており、受託元の動向に業績が左右される。このため、更なる取引拡大のためには、自社製品・サービスの開発に取り組む企業を増やしていく必要がある。</li> <li>IT企業が求める人材の確保が困難となっていることから、新規学卒者の地元定着や実務経験者のU・Iターン等、人材確保対策を進める必要がある。</li> </ul>	<p><b>【対応の方向性】</b></p> <p>管内IT企業の更なる取引拡大のためには、自社製品・サービスを開発できる企業としての育成が必要であることから、他産業との連携・地域の課題解決を通じ、<b>自社開発型企業としての参入を支援</b>するとともに、<b>IT・組込みソフトウェア等の産業人材の確保対策を実施し、IT産業の振興を図る。</b></p> <p><b>【取組内容】</b></p> <p><b>1 管内IT企業の新分野参入支援</b></p> <p>(1) <b>自社製品・サービスの開発支援とその波及</b></p> <p>ア <b>自社製品・サービスの開発支援</b>  自転車競技用運動解析センサーシステムの改良等を継続して支援し、ビジネス化を確立【継続】</p> <p>イ <b>自社開発型企業としての参入企業の拡大</b>  アで得られた自社開発参入への仕組みやノウハウ等を管内IT企業に波及させるため、「いわて組込み技術研究会」を活用して研修会を開催【新規】</p> <p>(2) <b>新たな他産業の課題解決を通じた参入支援</b></p> <p>ア <b>農業分野への参入支援【新規】</b>  「いわてスマート農業推進研究会」の取組と連携し、<b>農業分野のニーズと地元IT企業のシーズのマッチングを支援し、自社サービス開発を促進</b></p> <p>イ <b>プログラミング教育に関する教育分野への参入支援【一部新規】</b>  H32年度に小学校から順次導入される<b>プログラミング教育に対応し、学校現場のニーズに応じた教材開発を支援</b></p> <p><b>2 IT産業人材の確保</b></p> <p>(1) <b>新卒人材(大学生等)と県内企業のマッチング支援【継続】</b>  管内企業を知り就職先の選択肢としてもらうため、交流研修会(企業説明会・交流会)を2回開催(岩手大学・岩手県立大学)</p> <p>(2) <b>地域を志向したキャリア教育の実施</b>  地域(地元)の企業で働く意義に目を向けてもらうため、キャリア教育(IT企業社長によるプレゼン)の開催拡大(H29:岩手大学・盛岡工業、H30:岩手大学・盛岡工業・産業技術短大・一関高専)</p> <p>(3) <b>中堅人材のネットワークづくり【継続】</b>  IT企業の取引拡大やU・Iターン対策のため、本県と縁のある首都圏関係者等との交流の場として、岩手IT県人会を開催</p>	